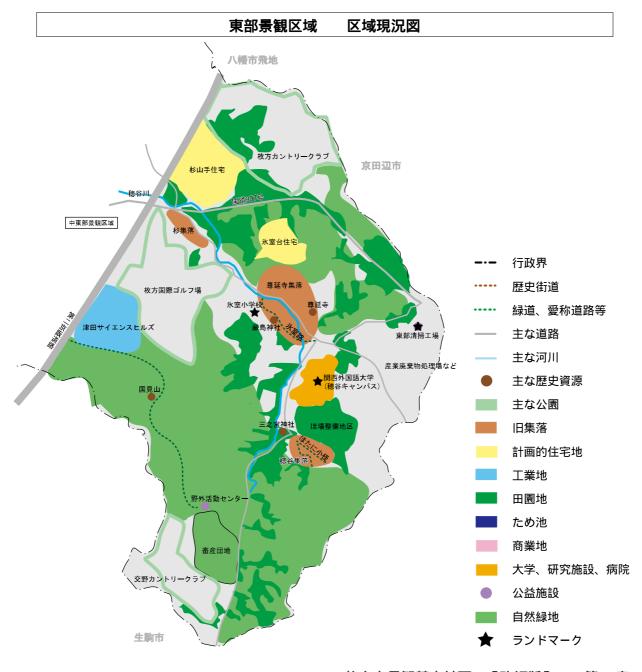
(9)東部景観区域

地域景観の課題と方向性

東部景観区域は生駒山系の緑とともに枚方市内でも多くの農地が残る区域です。国見山からの眺望は枚方八景の一つに数えられており、 身近な自然環境として市民に親しまれています。また山間地には、大 和棟などの特徴的な文化を今に伝えている穂谷などの旧集落が残って います。



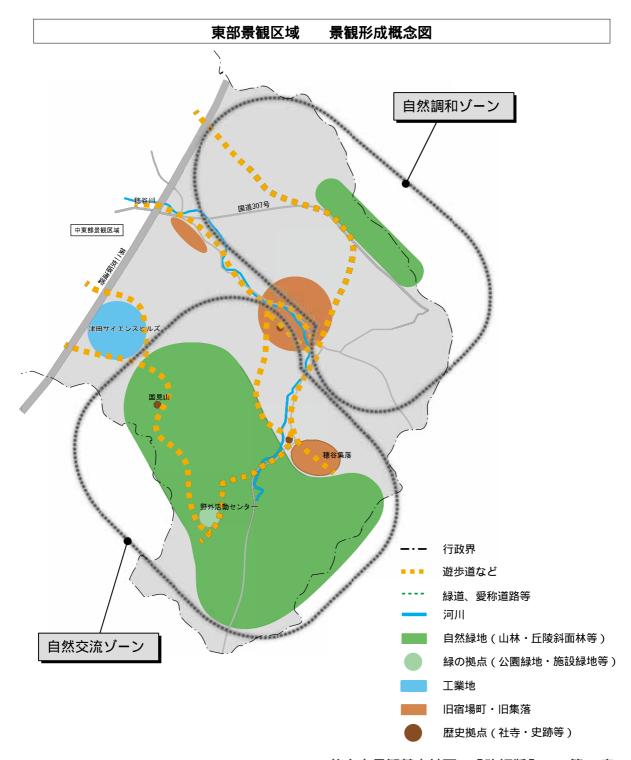
一方で、生駒山系山麓に広域幹線である第二京阪道路が建設され、また、関西文化学術研究都市構想のもとに、氷室地区には関西外国語大学、津田地区には津田サイエンスヒルズが開発され、第二京阪道路と国道307号を都市軸とした新しいまちへと姿を変えつつあります。今後も緑いきづく豊かな自然とバランス良く共存できる新たなまちなみを育んでいきます。



枚方市景観基本計画 【改訂版】 第4章

景観形成の方針

- 1. 生駒の山なみと調和したまちづくりの推進
- 2. 枚方を代表する豊かな自然環境の保全と自然との交流空間の整備
- 3.地域の骨格となる道路整備にともなう沿道景観の形成



枚方市景観基本計画 【改訂版】 第4章

景観形成の方向

自然調和ゾーン

地域の緑豊かな環境を継承し、自然と市街地とのバランスの取れた景観形成を図ります。

「緑と調和した計画的まちづくり」

- ・まちを縁どる緑の稜線やまとまった樹林の保全を図ります。
- ・地形や自然などの周辺環境に配慮した、計画的な市街地開発の誘導を図ります。
- ・良好な農地の保全を図ります。
- ・緑豊かな周辺環境と調和したスポーツ公園の整備を図ります。

「地域の骨格となる道路整備」

・周囲の山なみと調和した個性ある沿道景観をつくるとともに歩行者空間に配慮し、自然巡回路 との連携を図ります。

【関連プロジェクト】

関西文化学術研究都市サード・ステージ・プラン 里山保全基本計画 (仮称)東部スポーツ公園整備事業 氷室地域まちづくり構想



枚方市景観基本計画 【改訂版】 第4章

自然交流ゾーン

枚方の象徴的自然である生駒の緑を守り育て、受け継いでいくとともに、人と自然、都市と農村 の交流の場として活かします。

「豊かな自然の保全」

- ・市のシンボルとなる生駒山系の里山景観を守ります。
- ・良好な里山の風景をとどめる穂谷の集落景観の保全を図ります。
- ・棚田など美しい田園風景を守ります。

「自然交流の場としての空間整備」

- ・野外活動センターを自然とのふれあいの場として、充実を図り、国見山を良好な眺望場として活用 します。
- ・環状自然歩道整備計画と連携した自然巡回路の保全を図ります。

【関連プロジェクト】

大阪府環状自然歩道整備計画 里山保全基本計画 氷室地域まちづくり構想





枚方市景観基本計画 【改訂版】 第4章

